

12/1、12/4の4日間にわたり17人の議員が一般質問を行い、市政全般について活発な議論が交わされました。ここでは、質問・答弁の要旨を掲載しています。  
※原則として平成の元号は省略しています。

**中村 博美**  
NAKAMURA HIROMI  
●避難指示の出し方  
避難指示が抜け落ちた上三坂地区。適切に指示が出ていれば尊い2名の命も救うことができたのではないだろうか。



P.13

**関 優嗣**  
SEKI MASASHI  
●八間堀川決壊  
今まで先送りになってきた八間堀川の整備。この決壊がなければと嘆く声。今後、改修・整備はどう進むのか？



P.13

**寺田 洋**  
TERADA HIROSHI  
●防災協定  
今回の水害を踏まえて、これまでの防災協定では足りなかった部分は何か。今後、必要な協定を結んでいくべきだ。



P.14

**坂野 茂実**  
SAKANO SHIGEMI  
●美妻橋下流右岸の堤防  
堤防高が不足しているこの堤防。橋の架けかえがなければ整備されないのか。住民の不安はつるばかりだ。



P.14

**中島 亨一**  
NAKAJIMA RYOICHI  
●関東・東北豪雨災害  
避難指示は空振りだったかまわれない。いち早く指示を出すべきだ。大切なのは市民の生命と財産を守ること。



P.15

**倉持 守**  
KURAMOCHI MAMORU  
●圏央道常総インターチェンジ周辺整備事業  
地権者の意向を十分に反映すべき。早期に進めて、早く復興してもらいたい。



P.15

**大澤 清**  
OSAWA KIYOSHI  
●被災した地域の公民館  
地域住民が集う拠点である公民館。早期に復興することが重要だ。行政の手厚い補助をお願いしたい。



P.16

**茂田 信三**  
SHIGETA SHINZO  
●大水害は人災  
若宮戸の無堤地帯は、築堤の要望があったにも関わらず放置されてきた。これはまさに人災ではないのか。



P.16

**石川 栄子**  
ISHIKAWA EIKO  
●豪雨災害から考える問題  
①被災者生活再建支援の拡充、②建築廃材の処理費、③農業関係補償の問題、④防災無線の不備について。



P.17

**堀越 道男**  
HORIKOSHI MICHIO  
●災害救助法・被災者生活再建支援法  
被災者にもっと手厚い支援が必要。市長を先頭に「オール常総」の意識高揚を!!



P.17

**金子 晃久**  
KANEKO TERUHISA  
●豪雨災害について  
人間は必ずしも完璧ではない。あの未曾有の災害を今後の市民生活に生かせるよう、今回質問する。



P.18

**中村 安雄**  
NAKAMURA YASUO  
●市民の広場+カスミ跡地  
今回の水害で水没しなかった市民の広場。カスミ跡地もプラスして、水害に遭わない多目的施設の早期建設を!!



P.18

**岡野 一男**  
OKANO KAZUO  
●災害見舞金  
何の過失もなく被害をこうむった方々。5万、3万円で家電をそろえることはできない。被災者を救うのが行政ではないか？



P.19

**小林 剛**  
KOBAYASHI TAKESHI  
●大規模避難所を西側に  
西側、東側という新たな考え方が必要。防災センターを備えた大規模避難所にもなる複合施設を西側に建設すべきだ!!



P.19

**遠藤 章江**  
ENDO FUMIE  
●災害における行政対応と今後の行政運営  
ハザードマップ、災害時の職員動員体制、防災協定、今後の行政運営について。



P.20

**遠藤 正信**  
ENDO MASA NOBU  
●水害に伴う二次感染対策  
水害後、環境は劣悪。肺炎球菌、インフルエンザ、破傷風といった感染症について市は対策を考えているのか？



P.20

**新田 宏安**  
NITTA HIROYASU  
●当初政策の見直し・変更  
西部地区は西部地区で生活があり要望もある。今回の災害で忘れられてはならない。予算はまわってくるのか？



P.21